

Point

2021/03/01 No. 20
JR東労組青年部
(東日本旅客鉄道労働組合青年部)
発行責任者 武田 太希

21春闘 第二基本給って何？

JR東労組本部は、21春闘スローガン【厳しい春闘情勢下においても「雇用確保」「定期昇給（昇給係数4）確保」「ベア要求」を堂々と掲げ、グループ会社で働く仲間と共にたたかおう！】の下、申11号2021年度賃金引き上げ等に関する申し入れを行いました。要求内容は下記の通りです。

1. 2021年4月1日以降のJR東労組組合員の基本給を一律6,000円（定期昇給を含まない）引き上げること
2. 2021年4月1日以降のエルダー組合員の基本賃金を6,000円引き上げること
3. 2021年4月1日以降のグリーンスタッフ組合員の基本賃金を6,000円引き上げること
4. 「労働条件に関する協約（平成30年10月1日締結）第258条に基づき、定期昇給を実施すること。その場合の昇給係数は「4」とすること
5. 退職手当の算出基礎となる「第二基本給制度」を凍結すること
6. 「65歳定年制」を導入すること
7. 回答については2021年3月16日～18日の間とすること

昨年の交渉でも第二基本給について議論しましたが、労使の認識が合わず、継続議論となっています。第二基本給の導入経緯や問題点について提起します。

導入経緯

国鉄当時、赤字経営で大幅な債務を抱えていました。当時の経営体質では退職金によって更に債務が膨らむことが予想されていました。経営の圧迫を避けるために導入されました。

計算方法

賃金が増加した分の30%が第二基本給で年々蓄積され、退職時に退職金から第二基本給が引かれて支払われます。私たち労働者にとっては不利益なモノです。

問題点

完全民営化を達成し、社員数が自然減少した今、第二基本給制度は役目を終えたと考えます。また、このまま制度が継続されると国鉄採用の組合員と比べ、JR採用の組合員の退職手当は200万円～400万円下がってしまいます。よってJR採用の退職手当の考え方を議論すべきであるという問題意識があります。そのため、「第二基本給制度」の凍結を求めます。

退職手当試算（モデルケース）
2020年度入社
55歳時基本給37万円
第二基本給有り…約1,840万円
第二基本給無し…約2,220万円

第二基本給凍結を議論し、21春闘をたたかおう！

